

2023年12月期 第2四半期決算説明資料

2023年8月9日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(証券コード6464 東証プライム市場)



FY2023 上期の概要

売上

- 売上収益：前年同期を上回るも、為替影響を除くと実質減（▲2.3%）
- 成長戦略：セラミックボールが前年同期・前期を上回る一方、医療デバイスおよびアジア地域拡販では計画を下回る

利益

- 売上の減少により伸び悩み
- 前年のオランダのローラービジネス構造改革費用（2.3億円）の影響がなくなった一方で、同スタンピング部品工場閉鎖に伴う費用および需要減による収益悪化の影響として、第2四半期に1.2億円を計上

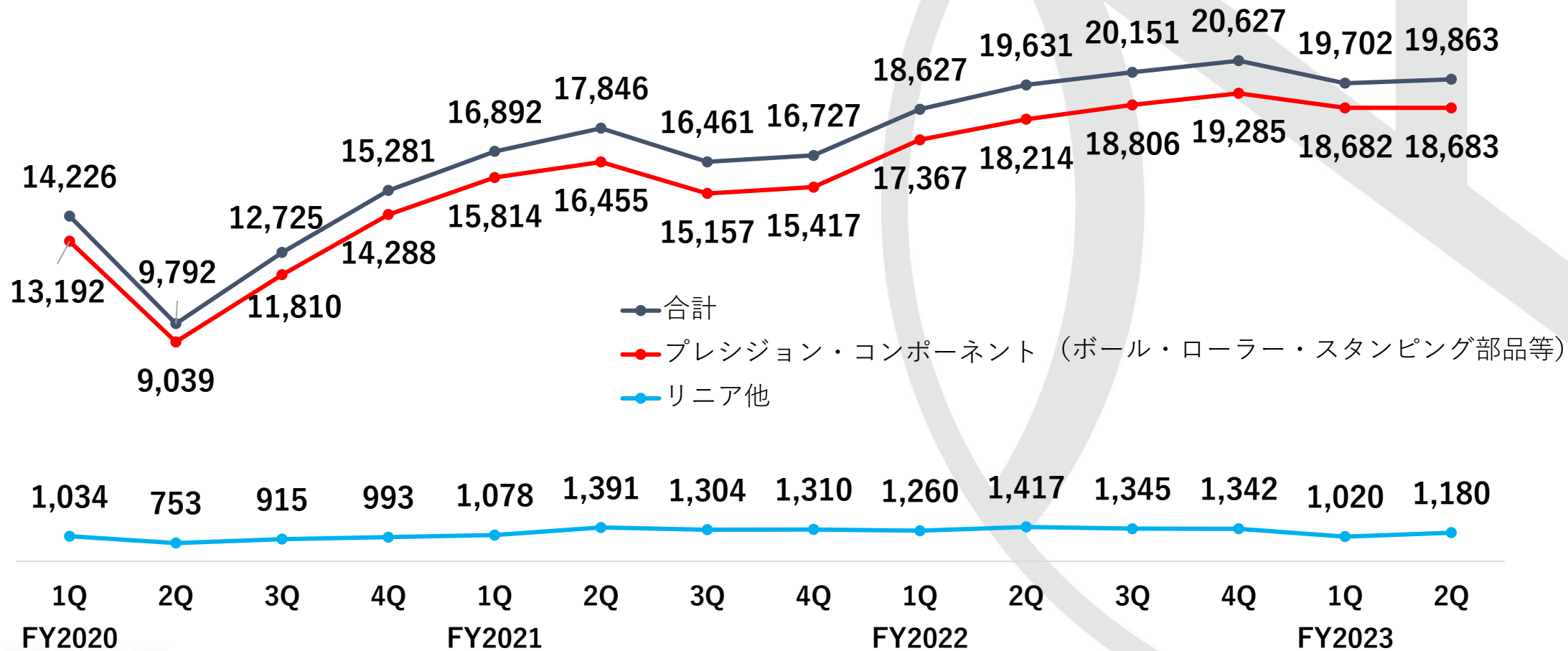
配当

- 年間配当額は、6月16日の修正ガイダンス通り
- 中間配当：1.3円/株、期末配当1.7円/株。年間3.0円/株の予定

四半期 連結売上収益推移

プレジジョン・コンポーネント売上収益：前年同期比2.6%増、前四半期比は横ばい
 リニア他の売上収益：前年同期比16.7%減、前四半期比15.7%増

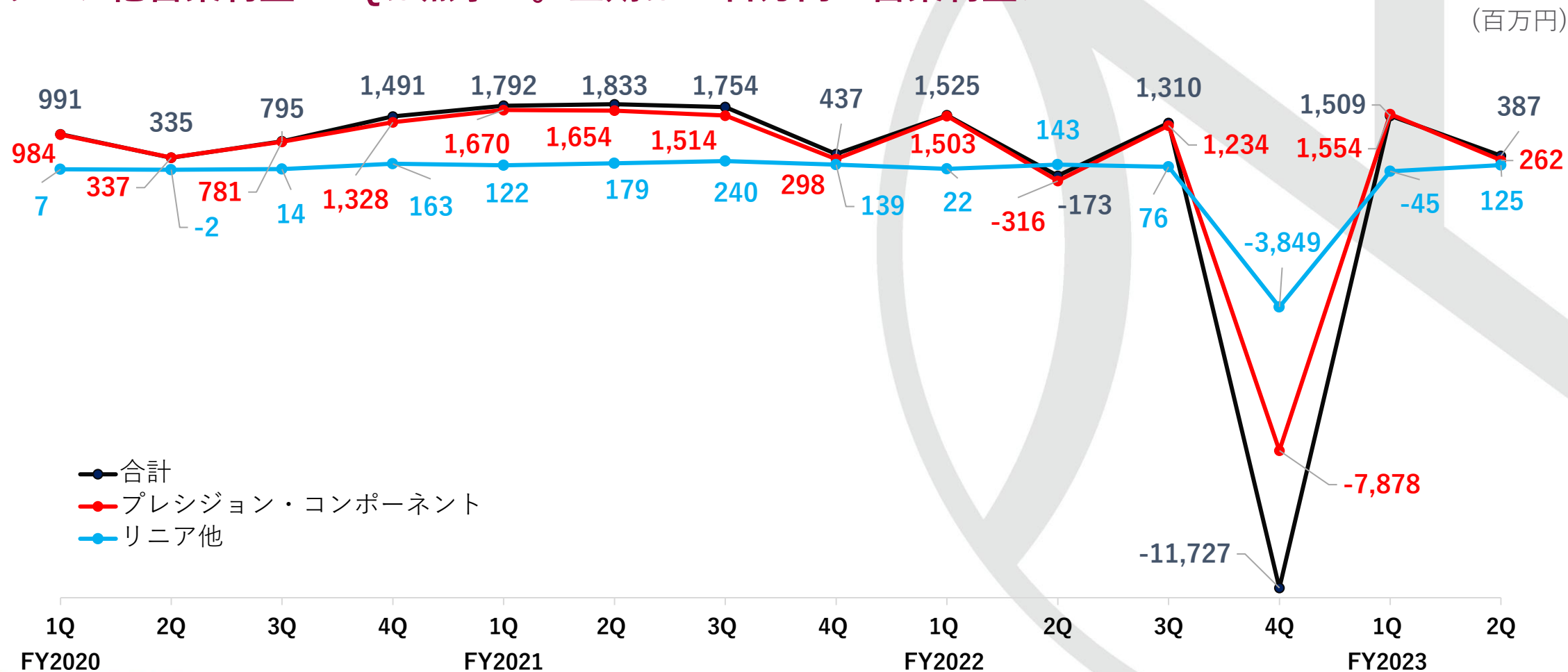
(百万円)



四半期 連結営業利益推移

プレジジョン・コンポーネント営業利益：含スタンピング部品工場閉鎖影響▲12億円（2Q）

リニア他営業利益：2Qは黒字へ。上期は80百万円の営業利益に



FY2023 上期連結業績（前年上期比）

売上収益（除為替影響）は前年上期比2.3%減、営業利益は同43.2%増

（百万円）

	FY2022	FY2023			
	上期	上期			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
売上	38,258	39,565	2,182	▲ 874	▲ 2.3%
営業利益	1,352	1,896	▲ 39	583	43.2%
対売上(%)	3.5%	4.8%	—	—	—
EBITDA	3,147	3,444	30	267	8.5%
税前利益	1,542	1,821	▲ 47	326	21.1%
当期利益	399	911	▲ 58	570	142.9%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

FY2023 上期セグメント・地域別売上（前年上期比）

（百万円）

	FY2022	FY2023			
	上期	上期			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
グループ連結	38,258	39,565	2,182	▲ 874	▲ 2.3%
プレシジョン・ コンポーネント ^{※2}	35,581	37,365	2,168	▲ 384	▲ 1.1%
日本	6,692	7,151	—	459	6.9%
北米	7,001	7,602	687	▲ 86	▲ 1.2%
欧州	13,838	13,655	1,135	▲ 1,318	▲ 9.5%
中国	6,737	7,188	216	235	3.5%
アジア（除中国）	1,317	1,770	129	324	24.6%
リニア他	2,677	2,200	15	▲ 492	▲ 18.4%

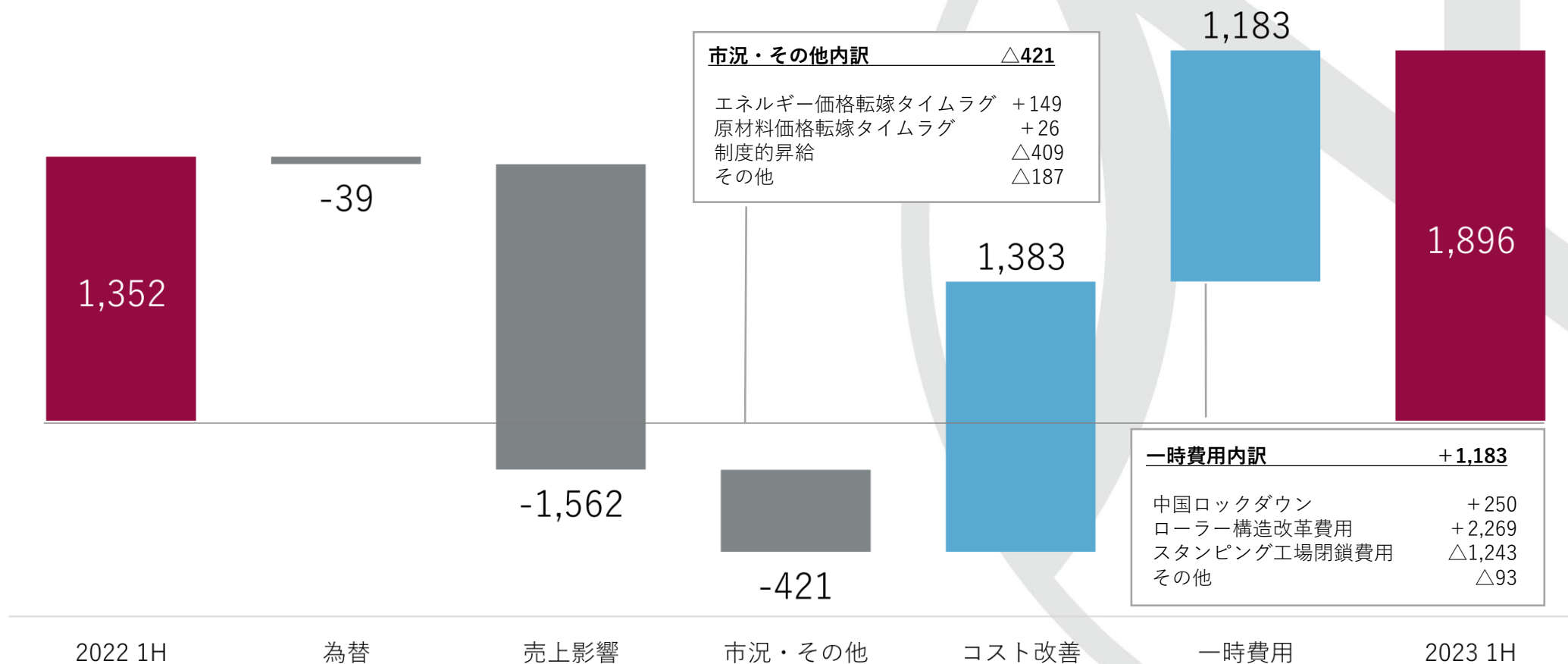
※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

※2 地域間の連結消去後

FY2023 上期 営業利益増減要因

売上減少の一方、コスト改善及び一時費用の減少の影響により、
対前年上期営業利益は40.3%増の1,896百万円

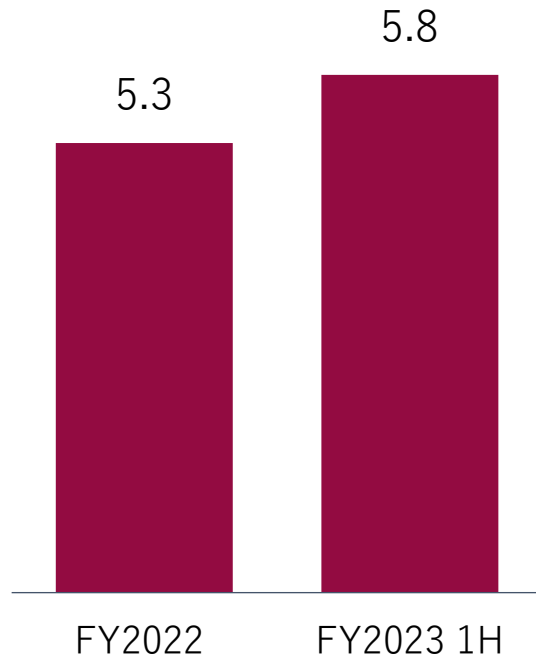
(百万円)



BS / CFにおける業績

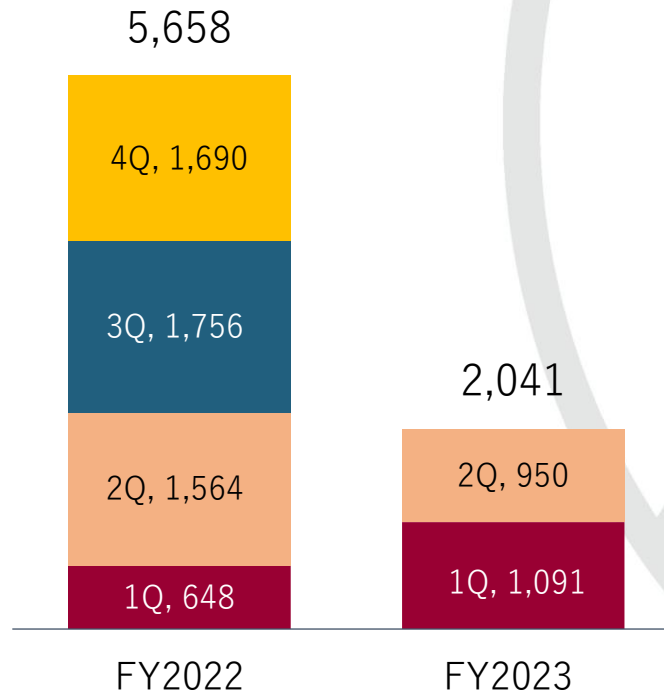
棚卸資産回転月数(月)

販売減に伴う在庫増



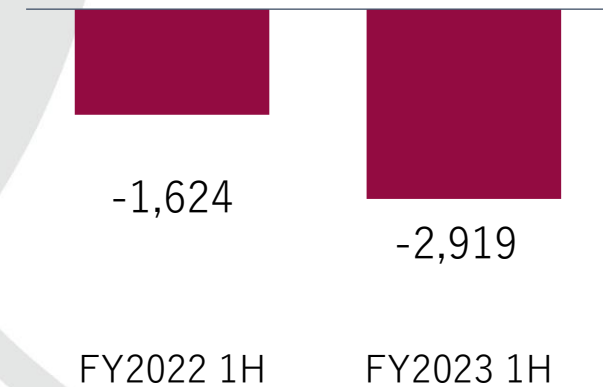
設備投資額(百万円)

成長に向けた設備投資を推進中



フリーキャッシュフロー
(百万円)

ローラービジネス構造改革に伴う退職金支払い(1,466百万円)



成長戦略の進捗（FY2023 上期）

セラミックボールが成長戦略を牽引する構図は変わらず
メディカルデバイスおよびアジア地域での拡販は計画を下回る

(百万円)

セラミックボール

メディカルデバイス

アジア地域での拡販

(除く中国、セラミック)

YoY +284
+12.6%

QoQ +126
+5.2%

YoY ▲82
▲25.8%

QoQ ▲195
▲45.2%

YoY ▲30
▲2.9%

QoQ +15
+1.5%

9,284

1,519

4,250

4,956

667

1,991

4Q, 2,662

4Q, 473

4Q, 1,205

3Q, 2,314

3Q, 425

3Q, 961

2Q, 2,257

2Q, 318

2Q, 236

2Q, 1,033

1Q, 2,051

1Q, 303

1Q, 431

1Q, 1,051

1Q, 988

FY2022

FY2023

FY2022

FY2023

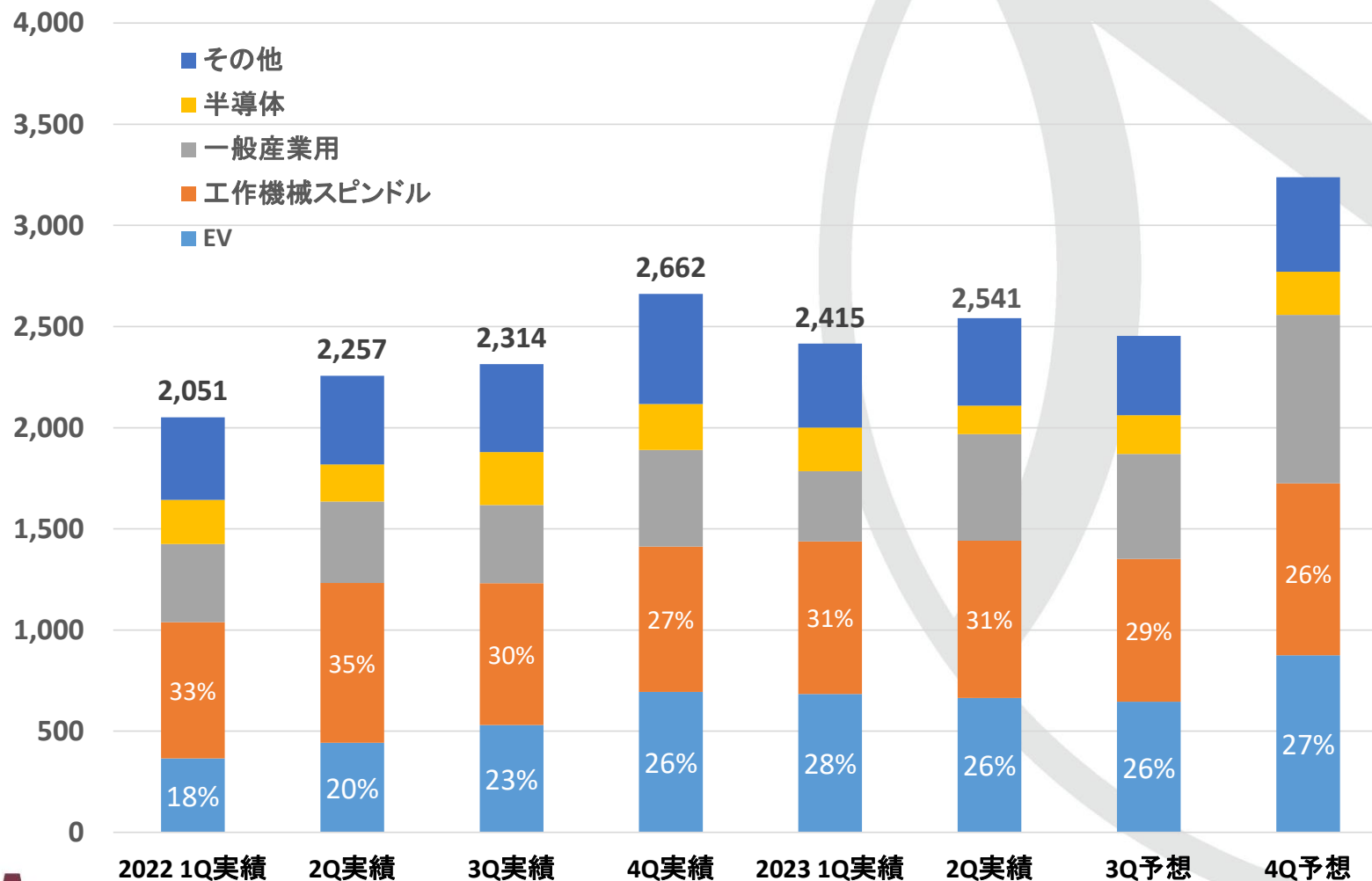
FY2022

FY2023

セラミックボールの用途別売上高推移及び予想

4Qに向けてEV向けが続伸、一般産業用も伸長
 工作機械スピンドル向けは引き続き安定

(百万円、棒グラフ内数字は%)



2023年12月期業績予想

6月16日の修正以降変わらず

(百万円)

	期初 見通し	6月16日 修正後	増減額	増減比
売上収益	86,000	80,000	▲ 6,000	▲ 7.0%
営業利益	9,000	4,500	▲ 4,500	▲ 50.0%
税引前当期利益	7,700	3,500	▲ 4,200	▲ 54.5%
当期利益	5,400	1,700	▲ 3,700	▲ 68.5%
基本的1株当たり当期利益(円)	133.89	42.79	-	-
一株当たり配当 (円)	48	30	▲ 18	▲ 37.5%

サステナビリティへの取り組み



昨年、当社は国際環境非営利団体CDPの審査を初めて受審し、その結果、8段階評価で上位から3番目となる「B」評価を受けました。引き続き、気候変動対策の強化に取り組んでまいります

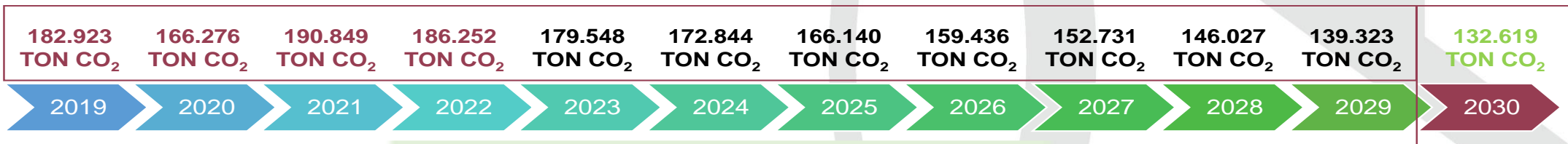
CO₂ 排出量削減目標



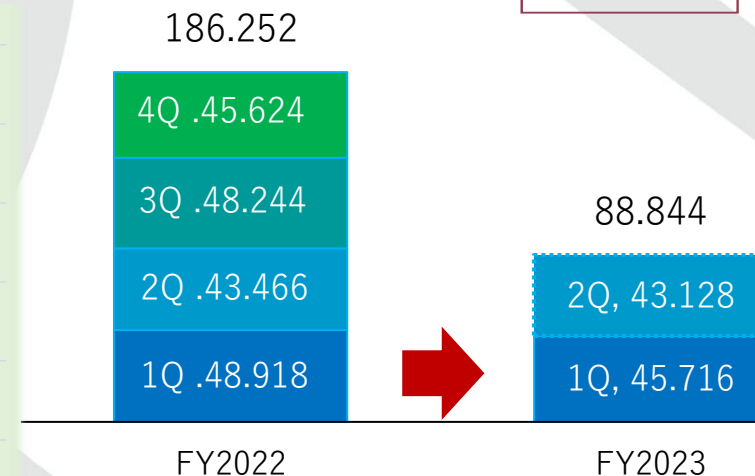
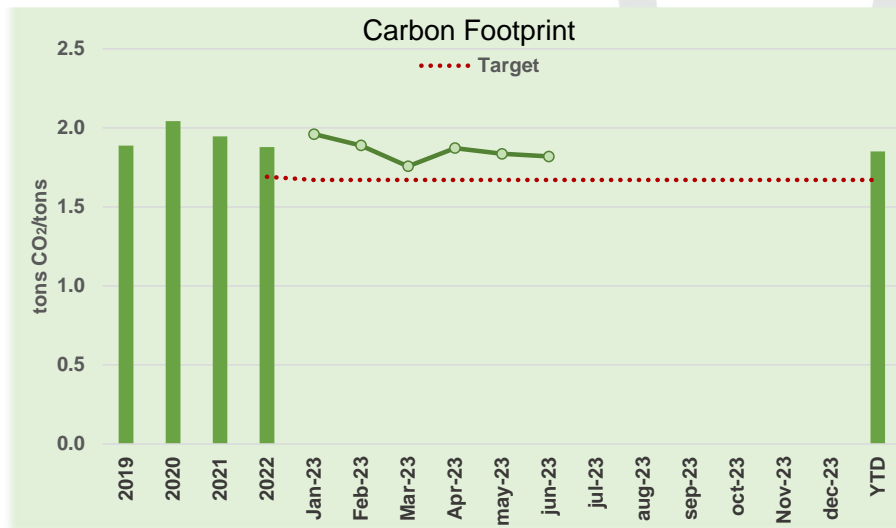
- 2030年までに、2019年比 ▲27.5%トンのCO₂削減
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

- ⚡ 工場のエネルギー効率の向上
- ☀️ 再生可能エネルギーシステムの導入
- 🌱 グリーンエネルギー購入戦略

当社グループ
目標



CARBON FOOTPRINT	H1 2022	H1 2023	2023 vs 2022 %
JAPAN	2.5	2.4	-1%
AMERICAS	1.5	1.6	5%
EUROPE	1.5	1.5	0%
CHINA	2.1	2.1	-1%
CERAMIC	33.3	29.8	-12%
MEDICAL	3.8	3.6	-5%
TN	1.8	1.9	0%



免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。